

衆議院議長

大島 理森 様

地方創生にふさわしい
選挙制度改革に関する緊急提言

平成28年4月

地方創生にふさわしい選挙制度改革に関する緊急提言

今、我が国の危機的な課題である人口減少に歯止めをかけ、東京圏への過度の人口集中を是正するため、「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、地方創生の取組みが全国で進められている。

こうした中、「一票の格差」を是正するため、衆議院選挙制度改革において、都道府県単位の定数を人口比のみで配分する案が検討されている。

東京一極集中を是正し、地方の活性化を図るためには、当事者である地方の意見が最大限に活かされることが必要であるが、大都市への人口集中に歯止めがかからない中、人口により単純に定数配分を見直し続けることは、地方選出議員が減少し、政治と政策の不均衡が進むこととなり、地方創生に逆行するものである。

以上のことから、衆議院選挙制度改革に当たっては、人口に議員定数を合わせることに終始することなく、人口問題など幅広い視点から地方の意見を国政に反映する地方創生にふさわしい仕組みとすることを提言する。

あわせて、衆議院改革のみにとどまらず、参議院の「地方の府」としての性格の強化など、衆参両院のそれぞれの役割や権能について議論し、選挙制度全体の抜本改革を行うよう提言する。

平成28年4月28日

岩手県知事	達 増	拓 也
山形県知事	吉 村	美栄子
福井県知事	西 川	一 誠
静岡県知事	川 勝	平 太
滋賀県知事	三日月	大 造
兵庫県知事	井 戸	敏 三
奈良県知事	荒 井	正 吾
鹿児島県知事	伊 藤	祐一郎